

ストーブの近くの布団にご注意ください！

こんな事故が起きています

石油ストーブを点火したまま、ストーブのそばに敷いたふとんで就寝し、建物が全焼した。



これが原因

石油ストーブを消火しないで寝てしまったため、布団が燃焼中のストーブに接触して発火した。

ここに注意

- 布団やカーテン等可燃物の近くではストーブを使用しないでください。
- 就寝する際は必ず消火しましょう。

「ストーブ上の鍋・やかん」にご注意ください！

こんな事故が起きています

豆を煮炊きするため鍋を石油ストーブの天板上に載せストーブを点火し、途中何度か見た際には異常はなかったが、点火から約4時間後にストーブ下部から炎が上がった。



これが原因

- ・ 煮こぼれ等が芯にかかり、一時的に炎が大きくなり火災に至ることがあります。
- ・ 燃焼筒はガラスが使用されていることから、温度の低い液体がかかると割れて異常燃焼となるおそれがあります。

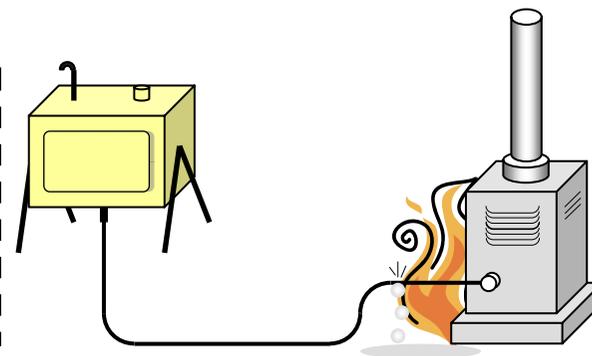
ここに注意

火災を起こす危険性がありますから、ストーブの天板の上に鍋やヤカンを載せてはいけません。

『石油ふろがま』のゴム製送油管の 損傷にご注意ください！

こんな事故が起っています

石油ふろがまのバーナーに点火してしばらくしたら、バーナー全体から火が出たので消火器で消火した。このところ油の臭いが気になっていた。



これが原因

灯油タンクとバーナーとの間をつなぐゴム製送油管に亀裂が生じたため、送油管から灯油が漏れ、何らかの火が引火した。ゴム製送油管は、経年劣化や無理な折り曲げなどにより亀裂が生じることがあります。

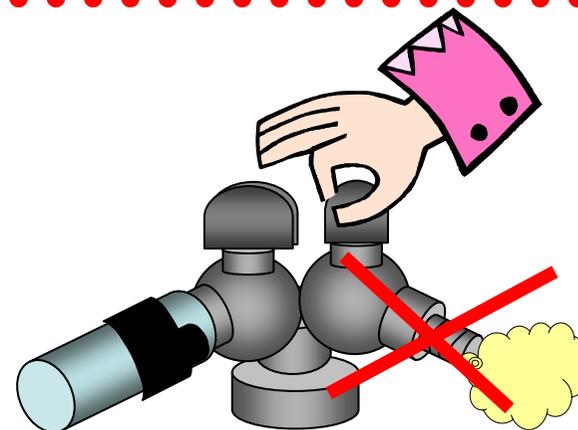
ここに注意

- ・ 送油管に亀裂が入っていないかどうか、日頃より目視点検し、もし亀裂が見つかった場合には、速やかに販売店など専門家に修理を依頼しましょう。
- ・ 送油管を無理に折り曲げて配管したり、踏みつけたりしてはいけません。設置状態に注意しましょう。

「ガス栓の誤開放」にご注意ください！

こんな事故が起きています

こんろ使用中に、こんろ裏側のガス栓に何も接続されていないことに気づかずにガス栓を開放したところ火災が発生した。



これが原因

ガス器具が接続されていないのに誤ってガス栓を開放してしまったため、流出したガスにコンロの火が引火し火災に至った。

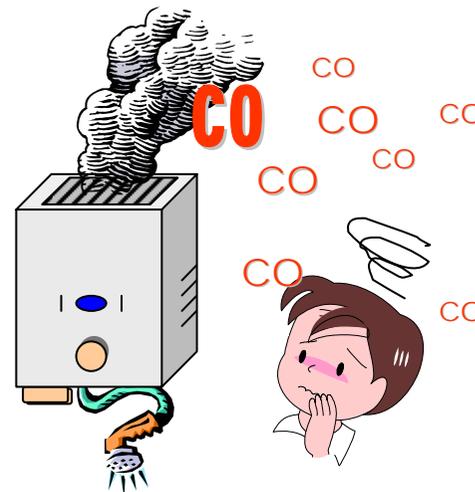
ここに注意

- ガス栓を開ける際は、ガス栓にゴム管が取り付けられていること及びゴム管の先がガス機器に接続されていることを確かめましょう。
- 使用していないガス栓の接続口には、ゴムキャップを付けましょう。また、使用していないガス栓のツマミは、閉栓カバーで覆いましょう。

『ガス瞬間湯沸器』の不完全燃焼にご注意ください！

こんな事故が起きています

開放式小型ガス瞬間湯沸器から黒煙が出ているのを以前から知りつつも点検・修理をせずに使用を継続していたところ、目眩がして気分が悪くなり、病院に運ばれCO中毒と診断された。



これが原因

長年にわたる使用で熱交換器が汚損して目詰まりを生じていたことから、不完全燃焼となり黒煙が上がると共に一酸化炭素が発生していた。

ここに注意

- ・ 黒煙やススが発生しているときや、湯沸器上部周囲がススで黒く汚れているときは、不完全燃焼となっている状態のため高濃度の一酸化炭素が発生し危険ですから、直ちに使用を中止し、業者に点検を依頼しましょう。

『小形キッチンユニット用電気こんろ』の 使用にご注意ください！

こんな事故が起っています

こんろのそばを通った時に体や荷物などがつまみに当たって意図せずスイッチが入り、こんろの上にあった可燃物に延焼。

こんなとき、こんな原因で火事になる



これが原因

- ①電気こんろの上や周辺に可燃物を置いている。
- ②つまみ部分にカバーがなく露出しているため、意図せずスイッチが入ってしまう。

ここに注意

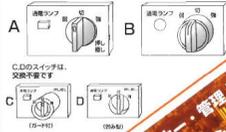
- ①電気こんろの上や周辺には絶対に可燃物を置かない。
- ②つまみ部分にカバーのない電気こんろを使用されている方は、メーカー等が行う無償改修を受けてください。

(問い合わせ先) 小形キッチンユニット用電気こんろ協議会(03 - 3556 - 5915)

安全にお使いいただくために

安全なスイッチ操作部に交換致します。

お問い合わせは、お部屋のお問い合わせ先であるユニットメーカーまたは、下記まで。
つまみが飛び出ているA、Bのスイッチは、ご連絡ください。
対象の場合は「無償」にて交換いたします。



オーナー、管理人、入居者のみなさんへのお願い
火のないここも火事になる
小形キッチンユニットのプラグインヒーター（電気こんろ）を安全に使っていただくために

こんなとき、
こんな原因で
火事になる



全自動洗濯機への洗濯物の詰め込みにご注意ください！

こんな事故が起きています

全自動洗濯機に毛布などの沢山の洗濯物を洗濯槽一杯に入れて洗濯していたところ、洗濯槽の中で洗濯物が焦げ発煙した。



これが原因

洗濯物を沢山入れすぎて、洗濯物が洗濯槽からはみ出した状態で洗濯槽が回転したために、洗濯物と洗濯機のフタ内側とが擦れて摩擦熱が生じ、洗濯物が焦げた。

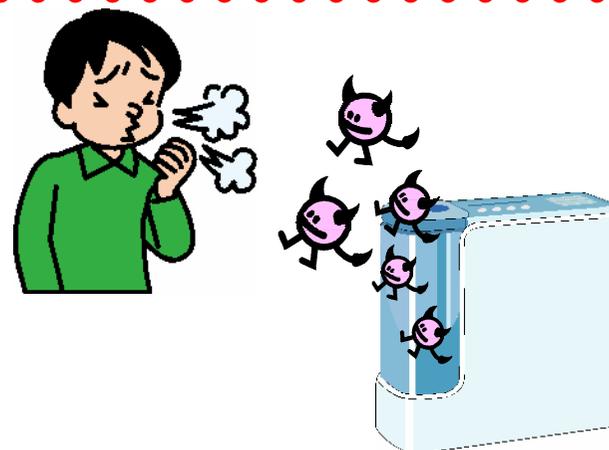
ここに注意

- 取扱説明書等に記載されている洗濯物の規程重量を超過した沢山の洗濯物を洗濯槽に投入してはいけません。
- 洗濯物を洗濯槽内にきちんと押し込んで、洗濯槽からはみ出していないことを確認してからフタを閉め洗濯スタートスイッチを押しましょう。

『加湿器』の水タンクのお手入れにご注意ください！

こんな事故が起こっています

超音波式加湿器の水タンクの中を購入後一度も清掃せずに使用を続けていたところ、レジオネラ肺炎に感染して死亡した。



これが原因

超音波式など、水を加熱せずに霧を発生されるタイプの加湿器は、水タンク内にレジオネラ菌が増殖しやすいため、菌を含んだ霧を吸引するとレジオネラ肺炎などに感染することがあります。

ここに注意

- 使用期間中はタンクの内部を常に清潔にし、水は毎日取り替えましょう。
- 長期間使用しない場合は、タンク内の水を抜いて乾燥させておきましょう。

『電子レンジ加熱式湯たんぽ』の過剰加熱ご注意ください！

こんな事故が起きています

電子レンジ加熱式湯たんぽを電子レンジで加熱後に布団へ運んでいたところ、湯たんぽの袋が破裂し、高温の内容物が飛散して火傷を負った。取扱説明書に記載の加熱時間よりも長い時間加熱していた。



これが原因

取扱表示よりも過剰な加熱を行うと、袋やケースが破損又は破裂し、高温の内容物が漏れ出たり、飛散します。

ここに注意

- 取扱い表示にあるレンジ出力及び加熱時間を必ず守って使用してください。
- あたためボタンなど電子レンジの自動モードを使用すると、過剰加熱となる恐れがありますので、これを行わないでください。
- 長期間の使用により、袋の強度が低下する可能性がありますので、袋に弾力性低下、き裂などが見られた場合には使用を中止してください。